

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成29年3月30日 (2017.3.30)

【公開番号】特開2014-180547(P2014-180547A)  
【公開日】平成26年9月29日 (2014.9.29)  
【年通号数】公開・登録公報2014-053  
【出願番号】特願2014-49725(P2014-49725)  
【国際特許分類】

A 6 1 B 18/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/36 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月27日 (2017.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マイクロ波アブレーション装置をエネルギー源に接続するよう構成されたケーブルアセンブリと、

前記ケーブルアセンブリに電氣的に連通する給電路と、

前記給電路の外部導体上に配置されたバランと、

前記バラン上に配置され、前記バランの温度を検知する温度センサと、  
を備えるマイクロ波アブレーション装置。

【請求項 2】

前記バランが、前記バランを前記外部導体に電氣的に接続するバラン短絡部を含む、請求項 1 に記載の前記マイクロ波アブレーション装置。

【請求項 3】

前記温度センサが前記バラン短絡部と物理的に接触している、請求項 2 に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項 4】

前記バランが前記バラン短絡部と接触している誘電体を含む、請求項 2 に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項 5】

前記バラン短絡部と誘電体とが熱収縮材によって前記給電路の適所に固定されている、請求項 4 に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項 6】

熱収縮材と前記バランとの間に配置された導電インクを更に備える、請求項 4 に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項 7】

前記誘電体の一部が、前記熱収縮材の最も先端の部分を超えて先端に延びる、請求項 5 に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項 8】

前記温度センサが、前記熱収縮材によって前記バラン短絡部と接触するように保持されている、請求項 5 に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項 9】

前記温度センサのワイヤが、第２の熱収縮材によって前記給電路に固定されている、請求項８に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項１０】

内側管状部材及び外側管状部材を更に備え、前記給電路、前記内側管状部材、及び前記外側管状部材が円柱状に配置されている、請求項１に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項１１】

前記給電路と前記内側管状部材との間、及び前記内側管状部材と前記外側管状部材との間に、前記アブレーション装置を通して流体が流れることを可能にするための間隙を更に備える、請求項１０に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項１２】

前記給電路に接続された先端の放射部であって、その一部が前記内側管状部材を超えて延びる放射部を更に備える、請求項１０に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項１３】

前記内側管状部材の基端部が流体出口に接続し、前記外側管状部材の基端部が流体入口に接続し、通電されると流体が前記アブレーション装置を流れ冷却する、請求項１１に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項１４】

前記流体入口と流体連通した第１チャンバと、前記流体出口と流体連通した第２チャンバとを備えるハブを更に備える、請求項１３に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項１５】

前記第１チャンバ及び前記第２チャンバがハブ分割器によって分割されている、請求項１４に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項１６】

前記内側管状部材が前記ハブ分割器によって前記ハブの中で固定されている、請求項１５に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項１７】

前記ハブ分割器が弾性材料で形成され、前記内側管状部材の前記基端部、すなわち前記内側管状部材の先端部分よりも大きい径を有する前記基端部に、前記ハブ分割器を固定する実質上の金属性剛体リングを更に備えている、請求項１６に記載のマイクロ波アブレーション装置。

【請求項１８】

前記ハブと、前記内側管状部材及び前記外側管状部材と、前記給電路と、遷移部とが、ハンドル本体の中に固定されており、それらの配列が１つ以上の位置合わせピンによって維持されている、請求項１４に記載のマイクロ波アブレーション装置。